



いるま

平成13年6月
定例会号 NO115
2001 / 平成13年8月1日発行

市議会だより

編集 議会だより編集委員会 発行 人間市議会 〒358-8511 埼玉県人間市豊岡一丁目16番1号 ☎(042)964-1111



子どものすこやかな成長を
- 市議会で児童虐待防止を決議 -

第2回定例会

人間市部設置条例の一部を 改正する条例など 24議案を審議!!

平成13年第2回定例会は、6月1日から20日までの20日間開催され、提出議案24件について審議された。

内容としては、市長提出による人事案件2件、規約2件、条例8件、一般議案8件、補正予算1件と議員提出による決議2件、そのほか請願1件である。

結果として、人事案件については同意と決定し、請願については全員一致で採択された。また、そのほかの議案についてもすべてが原案のとおり可決された。

条例

【一部改正】

人間市部設置条例の一部を改正する条例

組織機構を見直し、新たな部を設置するとともに条文の整備をするもので、審議の結果、全員一致で原案可決。

人間市職員定数条例の一部を改正する条例

組織機構の見直しに伴い、職員の定数を改め、併せて字句の整理をするもので、審議の結果、全員一致で原案可決。

人間市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

選挙長等の報酬の額を改定するもので、審議の結果、全員一致で原案可決。

人間市手数料条例の一部を改正する条例

都市計画法の一部改正により、市が行っている市街化調整区域内における建築許可不宅地の確認申請に対する審査事務が廃止されたことに伴い、当該事務に係る手数料を

廃止するもので、審議の結果、全員一致で原案可決。

人間市税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正に伴い、所要の改正をするもので、審議の結果、賛成多数で原案可決。

人間市都市計画税条例の一部を改正する条例

都市計画法の一部が改正されたことに伴い、条文の整備をするもので、審議の結果、全員一致で原案可決。

人間市ラブホテルの建築規制に関する条例の一部を改正する条例

都市計画法の一部改正及び県が既存宅地確認制度の廃止に対応した新たな許可制度を導入することに伴い、所要の改正をするもので、審議の結果、全員一致で原案可決。

人間市公民館使用及び使用料条例の一部を改正する条例

藤の台公民館の工作室の増設に伴い、使用料の額を定めるもので、審議の結果、全員一致で原案可決。

請願を提出

される方へ

市政についての希望や意見を請願書として議会に提出することができます。

請願は、憲法で保障された住民の権利であり、住民の希望を直接市政に反映させることができます。

市議会へ請願をしようとする時は、次の要領で提出してください。

(一) 邦文を用いて、件名、要旨、提出年月日、住所、氏名(法人の場合には、その名称及び代表者氏名)を記載し、請願者が押印してください。

(二) 請願書には、紹介議員1名以上の署名、または、記名押印が必要です。

(三) 内容が2件以上にわたるときは、1件ごとに提出してください。

(四) 道路・下水道等具体的な場所に関するものについては、略図等を必ずつけてください。

(五) その他不明な点については、議会事務局へお問い合わせください。

☎九六四 一一一一
(内線5112・5113)

請願

市道B53号線の道路整備に関する請願

本請願は、入間市小谷田3の9の37、安藤義則氏外141名より提出されたもので、東金子小学校の通学路にもなっている市道B53号線の一部が歩道未整備のため、児童にとつて危険な場所となっている。このことから、歩道の改良整備など、道路整備について求めるものであり、審議の結果、全員一致で採択と決定。

議員提出議案

決議

児童虐待防止決議

昨年度の埼玉県内における児童相談所で受け付けた児童虐待に関する相談件数は1千186件で、前年度比72%増と著しく急増している。

実際の虐待数は把握できていないとしているが、近隣市において児童虐待が発生しており社会問題化し、その対策を講じることにしている。必要性は言を待たない。

内容を見ると「身体的虐待」が686件で58%、「保護の怠慢・拒否」が295件で25%、「心理的虐待」が157件で13%、「性的虐待」が48件で4%としている。

虐待を受けている年齢は、「身体的虐待」が零歳・小学生、「保護の怠慢・拒否」は小学生である。主な虐待者は「実母」が729件、「実父」が283件、「その他」が106件である。昨年に改正児童虐待防止法が施行され社会の関心が高まっている。

こうした県内の状況を見る時、入間市においては事件として報道されるような表立った虐待の事例は無いものの潜在的な状況は計り知れない。少子化社会の中で見逃してはならない重要な問題である。経済不況のなか家庭内暴力や複雑な家庭環境等子育てに疲れた家庭の状況があり、今こそ社会全体の支援の輪をつくる時である。

入間市民こそって児童虐待防止に努め、家族や近隣住民の意識を変えることが重要であり、ここに児童虐待防止の決議をする。

平成13年6月20日

埼玉県入間市議会

人事案件

公平委員会委員の選任に同意

平成13年6月30日をもって任期満了となる公平委員会委員に引き続き吉川忠氏を選任したいとの議案が市長から提出され、全員一致で同意と決定した。

吉川 忠 氏
入間市宮寺1528番地

教育委員会委員の任命に同意

平成13年6月30日をもって任期満了となる教育委員会委員に引き続き双木小百合氏を任命したいとの議案が市長から提出され、全員一致で同意と決定した。

双木 小百合氏
入間市大字南峯400番地4

議員表彰

埼玉県市議会議長会の定期総会において、表彰規定に基づき表彰が行われ、本市議会より次の議員が表彰を受けました。

議長職2年以上

塩屋 和雄 議員



故長谷川武夫議員のご冥福を祈る



市議会では、20日の閉会日に本会議場において、故長谷川武夫議員をしのぶ哀悼の決議と同僚横田芳夫議員の追悼の言葉がありました。

故長谷川武夫議員は、昭和60年3月に市議会議員となり、市議会議長、常任委員会委員長などの要職を務められました。

慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

議員紹介

平成13年3月18日の市議選から3カ月以内に市議会議員の欠員が生じたため、公職選挙法の規定により、次の議員が繰り上げ当選されました。



保守系クラブ(4) 浦嶋 勝誉

図らずも議員と云う席を戴き長谷川武夫氏の冥福を祈り市政発展の為に努力致します。牛沢町3番12号

☎ 966 8213

入間CATVで本会議を全面放映しています

放映チャンネル 11チャンネル
放映時間 議会開催日の午後6時から
次の定例会は9月に開かれる予定です。

6月定例会の一般質問は、質問者16名により6月12・13・14日の3日間行われました。

一般質問

(質問・答弁内容は、質問者本人が要約したものです。)

水道施設整備計画、富士見通り線

塩屋 和雄議員

質問 水道施設整備計画が出されたが、特徴点と概要は、

水道事業管理者 昭和30年代後半からの人口急増に対応し、施設を建設してきたが、多くの施設の老朽化が顕著。第4期拡張事業を平成20年まで延長するとともに平成45年

までの長期計画とした。従来、地形の関係(市内の標高差151m)でポンプ加圧方式だったが、今後、既存施設の改修を考えると経費的にも自然環境

の点からも自然流下方式に転換することにした。改正第4期拡張事業で鍵山浄水場、藤沢水源池、東金子配水場を全面改修する。

質問 計画の中で鍵山浄水場を高度浄水処理にするとあるが、内容は、

水道事業管理者 高度浄水処理には、活性炭処理と膜ろ過方式、オゾン処理方式とあるが、入間川の原水の状態から活性炭処理を考えている。

質問 水質に不安のない安全な水を要望する市民が多いが、石綿管と鉛管の現状は、

水道事業管理者 石綿管は残存の長さが1万6千100m、

毎年2千mぐらい改修している。鉛管はメーター周りに使われているが、ほとんど改修済み。現在、給水台帳を点検しており、現地調査後、利用者には知らせていく。

質問 富士見通り線開通計画の進捗状況は、

区画整理部長 未整備部分は800m。道路面積1万3千㎡中、先行取得してある用地が7千150㎡、約55%である。

質問 今後の見通しは、
区画整理部長 二車線と片側歩道を暫定整備する。久保稲荷線から扇小通り線までの400mを先行して工事する。

合併は住民の議論を期待している

石本 勝彦議員

質問 公民館における月曜日開館と子育て支援事業の実施について、

教育長 月曜日開館は、早期実施に向け検討する。子育て支援事業については、関係団体や部署と話し合って展開したい。

質問 平地林の保全対策は、

市長 市街化の保全は難しい。健康福祉センターの隣接地は保全していきたい。

質問 街路樹の剪定方法について地域に不満の声がある。



健康福祉センター建設予定地に隣接する平地林

市長 ケースバイケースで自治会に連絡するようにする。

質問 屋外の煙草自動販売機を撤去する考えは、

市長 販売機からの収入が多いことなど難しさがある。今後、業界と話し合いを行う。

質問 アイドリング・ストップ運動は、実効ある対策強化を、

市長 環境まちづくり推進協議会のテーマに取り上げた。

質問 利用者の少ないリサイクルプラザは、公設民営にして施設の活性化を、

市長 利用人数よりも情報発信や活動内容を重要視。当面は今の運営でいきたい。

質問 国は合併を推進している。県では入間市の合併のパターンを2案例示している。

合併についての考えは。近隣市町村との話し合いは、

市長 あわてて合併を議論する状況にはない。これからの自治体は、最低でも30万人の理想は50万人の人口がよいと思う。行政主導でなく、住民発議で議論を湧き起こしてもいい。住民の中からそういう問題が起きてくると期待と確信をしている。近隣市町村との話し合いについては、今まだ難しい。

男女共同参画社会の実現に向けて

宮岡 幸江議員

質問 入間市では、男女共同参画社会の実現に向け、平成9年3月に「いるま男女共生プラン」を策定した。プランに基づいて、さまざまな施策を推進しているが、市役所における政策方針決定の場への女性幹部職員の登用は、

市長 自治体の具体的な取り組みには忸怩(じくじ)たる思いがある。議論の時は過ぎた、その実を示す時がきている。

質問 事務職員の中で何名の幹部職員がいるのか、

市長 課長職93名のうち女子職員は3名である。
質問 女性幹部職員の登用

を進めるにあたり、女性職員の育成方針は。

市長 女性職員との対話等を通じて能動型の意識改革をしていきたい。

質問 少子・高齢化社会における重要な政策課題として、「入間市児童育成計画」を策定したが、計画にある「子育てにやさしいまちづくり」の今後の重点方針は。

市長 エンゼルプランに基づいて事業を着実に実行する。また、ファミリーサポートセンターの活用も考えている。

質問 改正児童福祉法の施行により、保育所による情報提供が規定された。子育てに悩む親たちの支援策として、市内の保育事業の情報提供や保育に関する多様な悩みを解決するための相談窓口など、市のホームページを利用した子育て相談ネットの開設をできないか。

幹26号線(権現坂)の整備について

金子 俊雄議員

質問 国民宿舎グリーンロツジは、多くの市民等に利用されてきたが、本年9月末で宿泊を打ち切り、その後は休憩のみで営業、平成14年3月末には廃止となる。現在までの経緯と今後の対応は。また、観光地としても重要と考えるが。



国民宿舎入間グリーンロツジ

市長 昭和46年の開設以来、29年間国民宿舎として市民等に愛用されてきた。平成7年度以降、年々赤字が大きく累積されてきた。積立金で補ってんしてきたが、存続するには積立金も不足し、一般財源での補てんになる。そのため、平成11年12月に職員による検討委員会、平成12年6月に市政懇話会を設置して検討したが、老朽化等の問題により営業は終止符との答申を受けた。今後は、可能な範囲で改修を行い、一時休憩など観光的な観点からも検討をしていく。

質問 民間業者によるガス管理設工事の復旧と危険性は。建設部長 帝国石油による天然ガスのパイプラインで道路専用許可での工事。舗装等の復旧は、原則として幅員の

東藤沢児童公園に防火水槽の設置を

金沢実千代議員

質問 東藤沢地域は住宅密集地であり、道路が狭く、大地震の時などブロック塀が倒壊する恐れもある。このことから火災に対する備えを万全にすべきと思う。防火水槽は一大事の時、る過することにより飲料水としても使用できる。東藤沢児童公園に防火水槽を設置できないか。

消防長 市内に40t以上のものが686基、40t未満のものが260基設置してある。人口密度や建築物の密集度を考慮し、設置計画を立てている。東藤沢地域に早急に設置できるように最大限努力をする。

質問 県の乳幼児医療費は、通院が3歳、入院が就学前までと補助対象年齢が拡大されたが、一部負担金や所得制限の導入が条件である。所得制限等の導入には反対であるが、市の見解は。また、入院の対象年齢を5歳から就学前と拡大すべきである。医療費の窓口払いも廃止すべきである。

健康福祉部長 福祉の後退

のないよう検討会を設置して結論を出す。入院は就学前とする。窓口払いの廃止については、県へ積極的に働きかける。

質問 豊岡保育所の昇降口の雨水対策を早急にすべきである。また、保育室の入口は激しい雨の時、雨水の降り込みがある。計画を立て整備をすべき。

健康福祉部長 昇降口の雨水対策については、梅雨時でもあるので早急に整備をした。また、雨の降り込みについては、調査して対応をする。

質問 出産育児一時金貸付制度の創設は。市民部長 平成14年4月に実施予定である。出産に要する費用は、24万円を限度に無利子で貸し付ける。



市長 ホームページの開設については、前向きに検討する。



市立豊岡保育所

トイレの改善で 快適な学校生活を

箕口 順子議員

質問 ぜん息やアトピー性皮膚炎等のアレルギー疾患が多くなっている。家族歴があると発症のリスクが高いと言われる乳幼児のアレルギーは、早期発見が大切である。現在、実施している3カ月検診の中にアレルギー教室などを取り組んでみてはどうか。

市長 乳幼児アレルギーの早期発見は重要なことである。今後、医師会等と話し合い、アレルギー教室など早い時期に実施できるよう検討していく。



質問 扇小学校の一部8名と藤沢北小学校の17名は、同

校の生徒と違う学区の東町中学校に入学しているが、友達ができないなど悩んでいる。今後、同じ地域の学校へ通学させ快適な学校生活を送らせるべきである。

教育長 今後、保護者の意見も十分聞いて検討していく。

質問 暗い、臭い、汚い等学校トイレの厳しい現状に児童・生徒は、精神的にも肉体的にも負担を強いられている。また、小・中学校においては、和式のトイレが多い。洋式トイレとの割合を半々ぐらいに改善すべきである。

教育長 トイレは、学校の顔であると思っている。今後、計画を立て随時改修をしていく。

質問 高倉一丁目から四丁目地域の方のために「老人憩いの家」が設置されているが、一丁目の方にとっては、国道16号で分断されているため利用しづらい。一丁目にお年寄りが集える拠点を設置できないか。

健康福祉部長 現在、1老人クラブに「憩いの家」1施設となつているが、今後、会員増加など活動に変化があった場合には検討をしていく。



図書館の運営 野田・仏子の道路

宮岡 治郎議員

質問 市立図書館の運営について、(1)図書収集方針は。(2)ポピュラーな図書の割合が多いようだが、蔵書構成で専門書等に影響はないか。(3)市民一人あたりの図書の貸出し冊数が多い理由は。(4)本館と3分館の機能分担は。(5)利用者の調査研究への支援体制は。生涯学習部長 (1)市民の教養・文化等に活用できるように、選書会議で年間計画を策定している。(2)予約が集中する図書は全体の0.5%ぐらい。技術系の専門書は常に新しく買い替える必要性がある。(3)利用傾向等を分析し、リクエスト



野田の滝坂下の交差点

を随時受け付けている。(4)市内全域均等のサービスを基本に各館の特色を生かしている。(5)司書の養成を図っている。

質問 野田の通称旧道の滝坂下の交差点について、(1)改良の検討は。(2)交通安全対策は。(3)要望の出ている定周期式信号機の設置の用途は。

建設部長 (1)今後検討する。市民部長 (2)歩行者保護を中心に道路標示、反射鏡について改善を検討。(3)現状のままでは、車両感知式の押しボタン式信号機が最適。警察と協議し、要望をしている。

質問 仏子の通称金子坂の押しボタン式信号機付近について、(1)路面のギザギザ等、全般的な交通安全対策は。(2)広町方面への道路接続付近の歩行者の安全対策は。

市民部長 (1)車両のスピード減速を促す方法を検討する。(2)安全地帯の改良、歩行者の斜め横断防止の道路標示、車両の停止線の移動等を警察と検討し、対策を講じたい。

鍵山三丁目の 水害対策施設の充実

神谷 達議員

質問 鍵山地内入間川筋の修復工事は、本年7月末に完成予定と聞いている。入間市



入間川筋の修復工事(鍵山)

総合振興計画と実施計画による新貯留雨水排水施設の排水能力と設置時期は。また、定期的な排水機能点検計画についてはどうか。

建設部長 新排水施設の排水能力は、将来、公共下水道が完成した時を想定して、1時間あたり55mmの降雨があっても対応できる能力である。設置時期は、本年10月以降にできるだけ早く設置する。定期点検については、平成14年度から業務委託する。

質問 当市においては、分譲マンションが251棟、約1万戸に市民の方々が住んでいる。マンションが身近なものになって30年を超えていることから大規模修繕や建て替え、また、来年4月から金融機関が破たんした場合のペイオフが

実施予定であり、相談に來られる管理組合が増加すると予想される。市としてマンション管理の相談窓口の設置を考えているのか。

市長 将来、管理組合の相談も増加が予想されるが、現行の市民相談室の体制で対応していく。毎年行っている弁護士による法律相談でマンション管理問題をテーマとした相談会を開催していきたい。

交際費全面公開と平地林の保全を

石田 芳夫議員

質問 日本共産党は、市長交際費のうち選挙関係費の削減を主張しつづけ、今年度から実現。蓮田市では交際費の取り扱い基準を設け、明細台帳とともに窓口で公開。当市も市長の活動と交際費の全面公開を。

市長 決して秘密にしている。記者会見をし、行事予定表を公開している。全面公開はやるつもりがない。

質問 上藤沢社宅が896戸から350戸に激減し、N T Tは更に6万人のリストラを計画。数多くの空き家の不安と電波障害対策はどうなるのか。

市長 社宅は1カ所に集中し、電波障害の維持管理は今



後も継続するとの回答を得た。

質問 不況下で市内の法人の3分の2が赤字経営で資金繰りに苦労している。市発注工事の検査後の支払い期間を短縮すべきではないか。

市長 法的には40日以内だが、できるだけ早くするよう努力する。

質問 条件を緩和し、不安を抱える高齢者の緊急通報システムの設置要望に応えるべきではないか。

市長 現在95人に支給しているが、対象者の拡大を検討する。

質問 1㎡あたり20円の補助金だけという奨励型の保護樹林は、指定した20件のうち12件もすでに解除されている。指定の状況と補助金のアップをすべきではないか。

市長 全体で8千㎡解除したが、新規に6千420㎡指定した。現在53カ所、10haを指定してある。補助金については、10年以上経過しており増額を検討する。

箱ブランコの即刻撤去を!!

鹿倉 貞二議員

質問 児童公園に設置してある遊具に箱ブランコがある。ゆりかごブランコともいつている。子ども4人ぐらいで向かい合わせに座るものである。この箱ブランコから転落などして、大ケガ、または死亡する事故が後を絶たない。それらのほとんどが、ブランコの底部と地面との空間5〜20cmの所に子どもが転落し、ブランコに衝突して起きている。約100kgの鉄のブランコが大揺れし、さらに子どもも体重も加わり大きな衝撃力となつて大事故となる。この事故が10年間に13人ももの尊い子どもの命を奪つている。一人乗りのブランコに乗れない幼児にとつて、親と乗れば楽しいブランコのはずが、時には命を奪う凶器となる。子どもの乗り方が悪いと指摘する声も多

くあるが、このブランコは、児童公園に設置しており、誰でも利用できる年齢制限があるわけでもなく、簡単に大揺れできる遊具である。それでありながら、子どもの乗り方だけを責めていたことが大事故を繰り返した原因でもある。



公園にある箱ブランコ

市内でも大事故にはならなかったが、箱ブランコによる事故は必ず発生していると思う。他市では撤去を決めているところもある。即刻、当市でも撤去すべきである。

環境経済部長 市内には現在、21基の箱ブランコが設置してある。市の児童公園については、自治会と協議のうえ撤去をしていく。

マンション管理への行政支援

野口 哲次議員

質問 当市ではマンションが増えており、良好な管理を維持することが街づくりのために必要となつてきている。管理組合からの相談に対応できるように、マンションの専門

的知識をもつ職員を配置してどうか。

建設部長 市民相談の充実と法制化されるマンション管理士等の専門家の協力で対応していきたい。

質問 職員に専門的知識と経験があれば、アドバイスできることも多いのでは。

建設部長 相談の内容を見て対応を考えていきたい。

質問 よくわかる授業のために30人学級の実現が必要。その過程として、ティームティーチング(特定の科目の複数指導)のため配置された教員をクラス担任に置き換え、少人数学級を進めては。

教育長 40人という学級編成の標準は固定して、そこに複数指導等を可能にするのが国の方針だ。

質問 市内の精神障害者社会復帰施設は、小規模共同作業所のみ。生活支援センターなどの機能を備えた授産施設(精神保健福祉法による社会復帰施設)の計画は。

健康福祉部長 所沢の旧西部広域隔離病舎跡地を利用した地域ケア施設計画に当市も参加している。市内では今のところ計画はない。

質問 フライツァイト横の歩道上にあるバスの移動を。

市長 歩道は信託地の一部

だが、歩行者のことを考え、乗降時以外はバスを移動することで業者と合意が得られた。

高齢者住宅の充実を図れ!!

山下 修子議員

質問 環境省では、廃棄物処理法の改正を視野に入れ、2年後には一般と産業廃棄物の両方を各自治体で処理する方向で動いているが、(1)最終処分場の延命対策は。(2)ゴミ減量の実態は。(3)リサイクルプラザの活用と現状は。(4)収集形態の研究をしようか。(5)訴訟に補助参加しているがこれまでの市の基本姿勢を継続するのか。

市長 (1)延命に努め、平成21年まで埋立て可能である。(2)平成10年はひとり一日96gであったが、12年は1千6gと増えている。(3)再生品など収益を上げており、インターネットも活用したい。(4)研究してみる。(5)従来の行政としての方針を貫いていく。

質問 5月に緊急通報対応システム住宅を視察した。ライフサポートアドバイザーを配置し、高齢者の安全と利便性に配慮した住宅である。当市においても既設、新設を問わず公営住宅の目指すところ



緊急通報システムを完備した柏原団地

を示している。システムの管理、安否の確認、家事の一時の援助、生活相談等を業務とするLSA制度を取り入れてみてはどうか。

市長 高齢者の住まいの確保には、相談に乗らなければならぬ。ライフサポートアドバイザーについては、議論をして問題のないような体制づくりをする。

質問 教科書採択制度に関する要望書等が配付されているが、教育行政が長い間かかって築いてきた家永教科書裁判の判決や心ある人々に支えられてきた一種の安定性が崩壊した感がしてならない。見解は。

教育長 個人見解は控える。

介護保険、国保税、防犯灯の管理

金子 健一議員

質問 介護保険は、負担の重さから介護を受けられないことが矛盾の焦点。低所得者への保険料減免が急務では。

市長 低所得者と一つにくくることには異論がある。本当に払えない人は相談を。

質問 相談を受けても当市では条例上の減免規定がなく、対応できないのではないかと。

市長 その時点で必要があれば条例改正も行う。

質問 在宅サービスの利用が少なく、事業者の撤退やヘルパーの減員もおこっている。今後の変化に対応できるか。

市長 利用は高まっているので、ヘルパーの研修もお願いし、質の充実に努めたい。

質問 よい介護をするためにも事業所での勤務体制や労働条件の安定化が必要では。

市長 市と十分な連携をとり、施設での努力を求めたい。

質問 国保税納入率の低下をどうみるか。打開策は。

市長 12年度は推進員制度の活用で上昇した。納税相談の充実に努めたい。

質問 長期滞納者への資格証明書発行が義務づけられた

が、診療抑制につながるおそれがある。市の考えは。

市長 即発行ではなく、厳正、公平に対応したい。

質問 低所得を理由にした申請減免を認める自治体も増えてきた。市もやるべきでは。

市長 相談には丁寧に応じる。低所得への拡大はしない。

質問 防犯灯の器具交換の際、自治会の財政負担が過重だ。市が負担すべきではないのか。

市長 交換費用の半額は、市が負担する方向で検討する。



利用者本位の介護保険制度に

堤 利夫議員

証しながら必要であれば制度減免もありうる。

質問 介護認定の再判定で1割程度は介護度が軽くなるケースがある。家族の負担増にならぬよう配慮を。

市長 利用者本人の認定なので困難である。

質問 利用者本位の制度にしていくために各事業者のサービス評価を情報として提供すべきである。

市長 サービス評価は、第三者機関、業界団体等による情報提供ができるよう行政としてリードしていく。

質問 介護保険制度を推進する介護専門員の充実は重要課題である。市の取り組みは。

市長 隔月に連絡会議を開き資質の向上を目指す。

質問 ペイオフ解禁による公金保護への対策は。

収入役 金融情報を注視しながら十分な対応をとる。

質問 自立生活のために浴室用椅子を貸与できないか。

市長 シャワーチェア等の補装具で対応している。

質問 知的障害者を持つ保護者の共通の悩みは、「親なき後対策」である。安心できる施策の充実に努める。

市長 保護者自身が高齢になつていくので、十分な取り組みをしたい。

乳幼児医療費の拡大を急げ

対馬ヨシ江議員



質問 乳幼児医療費について、(1)「就学前まで無料に」との声は多い。この声に応え、入・通院とも就学前まで拡大を。(2)当市は償還制だ。窓口払いをなくすために医療機関との協力体制づくりを早急に進めるべき。(3)県は所得制限、一部負担金制度を導入した。この制度には多くの反対がある。従来どおりの制度を堅持すべき。(4)医療費の還付を受けやすくする必要がある。せめて医療機関に申請用紙の設置を。

健康福祉部長 (1)市の単独事業として拡大してきた。二

〇〇一年度は、入院のみ就学前で拡大。今後計画どおり入院のみの拡大だ。(2)実施する段階で医師会に協力要請をする。(3)部内に福祉医療に関する県補助金の見直しに伴う検討会を設置した。慎重に検討したい。(4)協力が得られるよう医師会に要請したい。

質問 消費者相談室への相談件数は年々増加している。相談室は、相談者のプライバシー確保のため外から見られることがなく声が漏れないようにすべき。

市民部長 庁舎全体から見ても管理上の問題がある。今後検討してみたい。

質問 国道463号の(1)東町の安川新道口交差点とその周辺、(2)東愛宕神社付近の交差点とその周辺は段差の解消と歩道の拡幅が必要。県に要請を。

建設部長 (1)歩道の整備と側溝のふたが傷んでいるので、早急に整備をしてほしいと県に要請をした。(2)信号機の支柱もあり確かに歩道が狭い。時期を見て改めて要請をする。



情報化社会を目指して

田中 智義議員

質問 パソコンが市内全学校に導入され、児童・生徒がパソコンに触れる機会が多くなった。利用状況と今後の授業時間外での利用の検討は。

教育長 各学校で利用回数は年々増加し、昨年度の平均利用回数は小学校205回、中学校242回、一人あたり小学校約11回、中学校(大規模校)17回、(小規模校)28.4回である。今後は、検討委員会を設置しているため、パソコン教室以外での利用を図っていく。

質問 本年度、IT講習会が行われているが、推進状況と今後の取り組みは。

企画部長 現在まで男性608人、女性1千314人が受講し、年齢層では40〜60歳が1千500人で全体の77%を占めている。生涯学習部長 来年度以降の取り組みは、公民館事業で初級・中級講座を計画する。

質問 市内で建設残土の問題が発生し、周辺環境への悪影響が懸念される。業者に残土を積み立ててしまつとなかなか撤去できず放置されてしまつ。規制条例を制定し、予防策を講じるべきでは。

質問 市内で建設残土の問題が発生し、周辺環境への悪影響が懸念される。業者に残土を積み立ててしまつとなかなか撤去できず放置されてしまつ。規制条例を制定し、予防策を講じるべきでは。



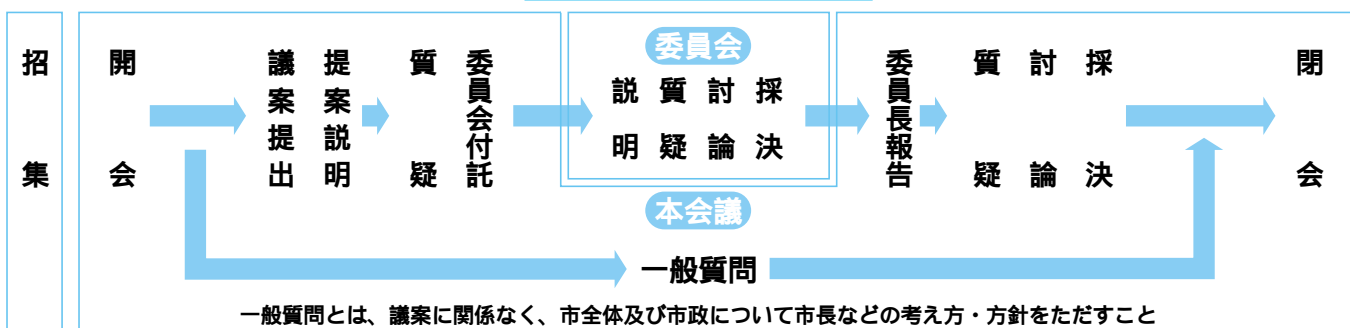
市長 生活環境の保全に関する指導要綱と環境基本条例の中で規制ができるか検討する。

質問 都市計画法が改正され、市街化調整区域の規制が緩和される。線引き後30年が経過する中で諸問題が発生している。調整区域のまちづくりを進める考えは。

市長 市街化区域でも未整備のところがあり、予算もかかる。積極的な対応は難しいが、地域の意向を確認し何らかの形で対応したい。



会議の順序



市の民の声

大切に守ろう

人間の自然

東藤沢 荻野 盟雄(無職)



人間市に移り住んで10年になるが、当時を思うと随分辺りの風景

も変貌している。高層のマンションやスーパーマーケットが立ち並び、駅も近代的な設備の整った立派なものとなった。不便さを感じていた人間の生活もいろいろな面で住みよくなっている。

そうした中で危惧されるのは、自然の破壊と環境汚染による様々な影響である。

人間は昭和41年に市制が施行されたとうかがい知るが、狭山茶の産地として、茶畑の景観は眺める人にも心に安らぎを与え、豊かな緑の木々に

ほのぼのとしたゆとりを感じる。

自然の姿をまだまだ多く残している人間、この姿をいつまでも守って行きたいもの。夕暮れに流れる「夕焼けこやけ」のメロディに子供の頃の郷愁を感じる昨今である。「夏空の人間に

小鳥が夢をみる』

女性議員の増加を喜ぶ

仏子 秋元 光次(無職)



今回の市議選で女性議員が1名とはいえ増加したことを喜んで

一人です。古くから男性中心の社会が続いたことや女子が性的特徴から育児・家事に専念したためとか、参政権を得たのが戦後ということなどが、議員に女性が少ない理由

三二情報

国民宿舎と青年の家の行方

国民宿舎人間グリーンロτζジは、開設以来30年にわたり多くの方々に利用されてきたが、本年9月末をもって宿泊を終了し、来年3月末にはすべての国民宿舎業務に終了符が打たれることとなった。建物は、当市のシンボリックな存在として愛されてきたが、老朽化、耐震上の問題など大きな改修が必要であり、過去5年間の経営赤字を抱え設備投資をしても経営改善をするの

と思えます。

しかし、歴史を見ても8名の女性が十代にわたり天皇に即位なされています。また、現在は5名の閣僚、各2名の党首と知事が活躍されており、近くの国立市では、市長・議長・副議長が女性という例さえ出現しているそうです。

私は49年人間市を中心に教職に従事してきましたが、その間、女子が男子に劣るなんて一度も思ったことがありませんでした。

人類の半数は女性です。21世紀には、ぜひ女性議員の倍増や市役所特別職への就任を愛する郷土人間市に期待して

はむずかしいとの判断によるものである。また、埼玉県では、本年3月に取りまとめた「県立青少年教育施設の今後の在り方について」に基づき県立人間青年の家を平成14年度末をもって人間市に移管するか、廃止するかを選択することになり、当市でも対応を検討することとなった。いずれの施設も今後どうしていくのか。市民ニーズを的確にとらえ、どう利用できるのか。費用対効果や財政事情等も勘案し、今後進められていくこととなる。

おります。

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。今回の6月定例会は、改選後初めての定例議会であり、新人議員3名を含む、28名の議員により、上程された案件も総括質疑、委員会審査、委員長報告と慎重に審議が進められ、すべての案件が承認されました。

また、議会だより編集委員会も今回(115号)から新しいメンバーとなりました。今まで以上に市民の皆様へ親しまれる議会だよりを編集するよう努力していきます。

9月定例会日程案

- 8月31日(金)開会
- 9月5日(水)総括質疑
- 9月6日(木)総括質疑
- 9月7日(金)委員会
- 9月11日(火)一般質問
- 9月12日(水)一般質問
- 9月13日(木)一般質問
- 9月20日(木)閉会

※日程については、変更する場合がありますので、議会事務局へお問い合わせください。

☎九六四一一一一
内線5112・5113



議会だより編集委員会

- | | |
|-------|-------|
| 田中 智義 | 山下 修子 |
| 金子 健一 | 野口 哲次 |
| 金沢実千代 | 宮岡 幸江 |
| 鹿倉 貞二 | 駒井 勲 |
| 高橋 満男 | 友山 信夫 |
| は委員長 | は副委員長 |